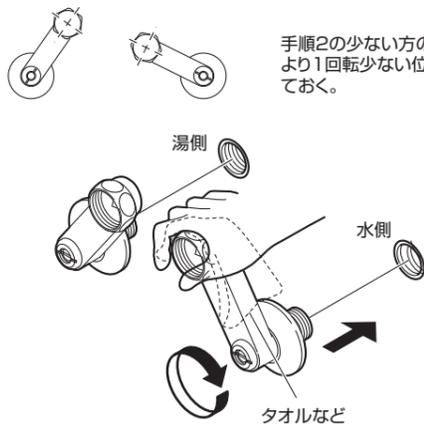




#### 4 偏心管を仮固定します。

偏心管をタオルなどであてがい、湯側・水側ともに右にまわして入れます。手順2で確認した偏心管の少ない方の回転数より1回転少ない位置まで、湯側・水側ともにまわして止めておきます。



#### アドバイス

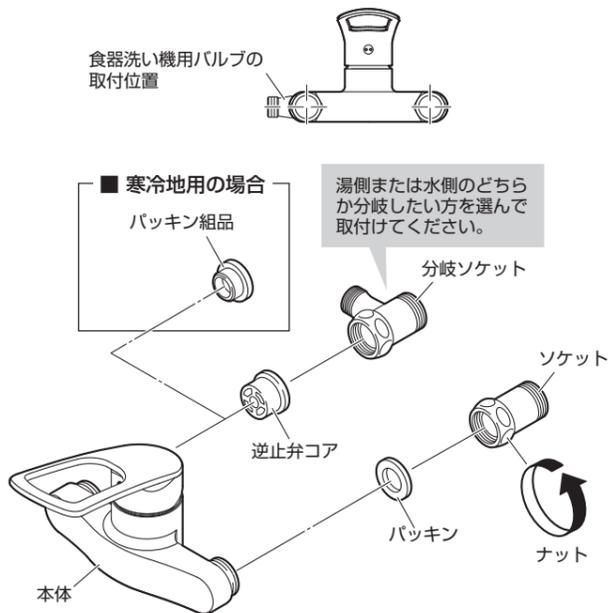
上記のように偏心管を少し手前で止めておくことで、ねじ込みすぎを防止します。

#### 注意

漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしゆるめてしまった場合は、手順3をもう一度はじめて行ってください。

#### 5 分岐ソケットを取付けます。

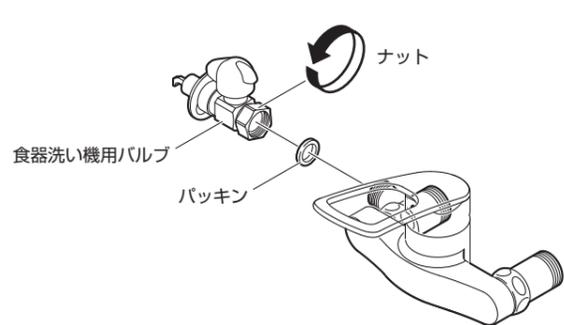
水栓本体と分岐ソケットの間に、一般用は 水側：パッキン 湯側：逆止弁コア、寒冷地用は 水側：パッキン 湯側：パッキン組品が入っている事を確認し、分岐バルブが水平になるように取付けます。



#### 注意

- 水栓本体と偏心管の間に、一般用は 水側：パッキン 湯側：逆止弁コア、寒冷地用は 水側：パッキン 湯側：パッキン組品が入っていることを確認してください。パッキン、逆止弁コア、パッキン組品が入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 水栓本体は重いので落下などに注意して取付けてください。
- 浄水器などに接続する場合は、給水接続で使用してください。高い温度で使用すると、接続機器が破損するおそれがあります。
- 食器洗い機などに接続する場合は、接続機器の使用最高温度を確かめてから接続してください。使用最高温度より高い温度で使用すると、接続機器が破損するおそれがあります。

#### 6 食器洗い機用バルブを取付けます。



#### 7 水栓本体を取付けます。

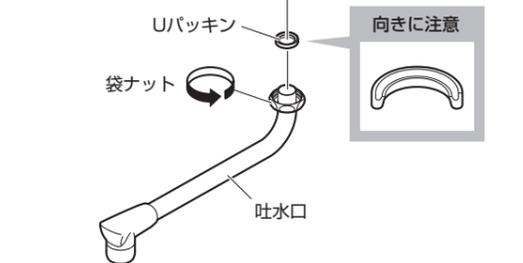
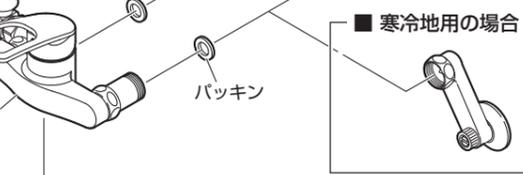
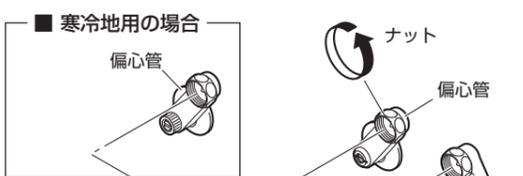
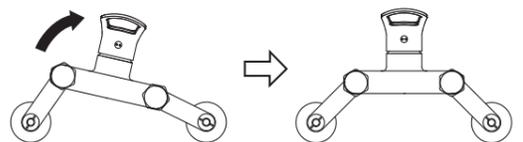
(1) 水栓本体と偏心管の間に、パッキンが入っている事を確認し、水栓本体がまっすぐになるように偏心管を調節しながら手でナットを締付けていきます。

#### 注意

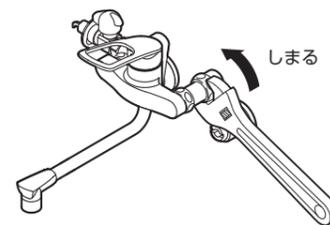
- 漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしゆるめてしまった場合は、手順3をもう一度はじめて行ってください。
- 水栓本体と偏心管の間に、パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 水栓本体は重いので落下などに注意して取付けてください。

#### 注意

偏心管の水抜部が本体よりも上になると、寒冷地用の場合水抜きできませんので必ず下になるように取付けてください。



(2) モンキーレンチなどでナットをしっかりと締付け、水栓を偏心管に固定します。



#### 注意

緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

#### 8 ガタツキ・水漏れチェックをします。

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。ガタツキの確認後、元栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめてやり直してください。最後に座金を壁面に締付けて完了です。

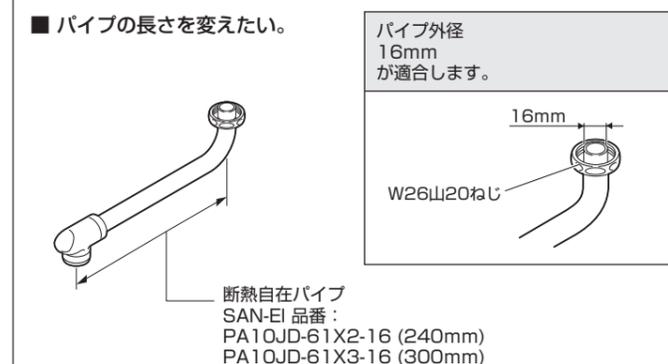
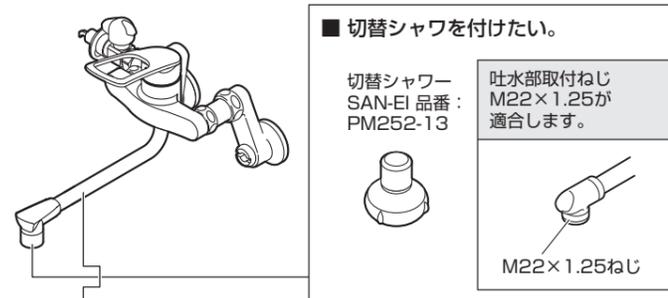


#### 注意

取付後の通水は、必ず分岐部に給水ホースを接続した後、行ってください。  
※分岐側の接続については、取扱説明書：「吐水・止水・温度調節」分岐側の接続についてをお読みください。

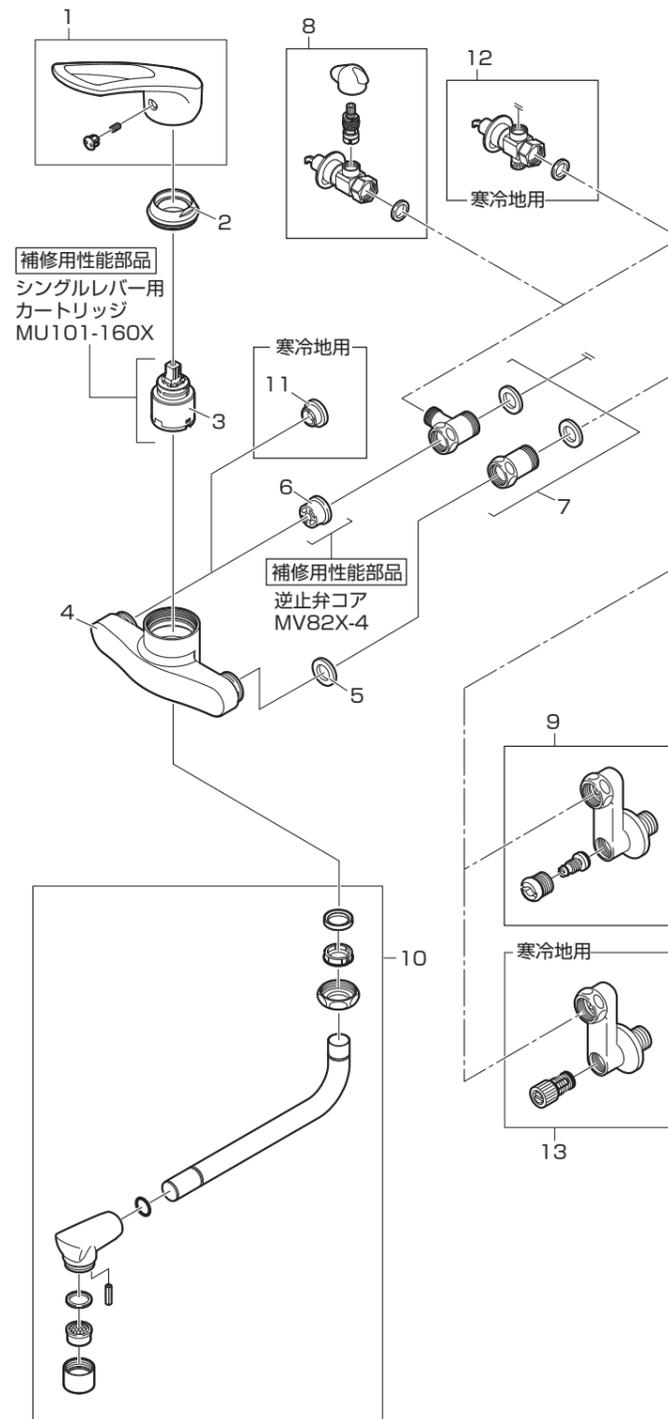
#### こんなときは オプション品について

SAN-EIでは、水まわりを快適にサポートできるようにオプション品や補修パーツをホームセンターなどでとりそろえております。(品質改良、原材料事情などにより、品番、仕様などの変更、および製造中止を予告なくさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。)



#### こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



K17111ED-13

一般用
1. レバー
2. プッシング
3. シングルカートリッジ
4. 胴
5. パッキン
6. 逆止弁コア
7. 混合栓分岐ソケットS用
8. 食器洗い機用バルブ
9. 偏心管
10. 吐水口

K17111EDK-13

寒冷地用
11. パッキン組品
12. 食器洗い機用バルブ
13. 偏心管

株式会社 三栄水栓製作所

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

TEL 大阪 (06)6976-8661

TEL 東京 (03)3683-7496



## 日頃のお手入れ 吐水口の掃除

吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。  
(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

**1** レバーを下げ、止水します。  
**2** 泡沫器本体をはずします。  
**3** ハブラシなどで網部分を掃除します。

**注意**  
パッキンのゴミかみに注意してください。

**再使用时**  
泡沫器本体が確実に閉まっているか確認してください。

## 定期的な点検 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。吐水口・流量調節栓の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき吐水口・流量調節栓を回してください。(月1回を目安)  
流量調節栓を回す際は設定位置を確認し、回した後に元の位置に戻してください。寒冷地用の場合は水抜本体をもって回してください。参照:「流量調節」

吐水口・流量調節栓を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。  
吐水口・流量調節栓が回らなくなった場合は、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。

## 定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)  
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)  
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
漏水を確認した場合は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。  
修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」を参照してください。

## 定期的な点検 レバーのガタツキ

レバーががたつく場合、止めねじがゆるんでいないか、下記の操作を行い確認してください。

**1** 精密ドライバーなどでキャップを押し出します。

**ポイント**  
レバーを下げ、精密ドライバーなどでキャップを押し出してください。

**注意**  
●水栓本体に傷が付かないようご注意ください。  
●作業時にケガをしないようご注意ください。

**2** キャップが少し出たら、手でキャップをつまみではずします。  
**3** 止めねじを六角レンチで増し締めします。

**注意**  
取付ける際は、キャップの色が右(青)左(赤)になっているか確認してください。

六角レンチ(付属品)(対辺3mm)×1  
六角レンチは、なくさないように保管してください。

以上の処置をされても不具合がなくなる場合は、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。

## 定期的な部品交換 逆止弁の交換時期

逆止弁の交換時期の目安: 3~5年  
万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。  
※逆止弁が使用されているのは、一般用製品(K17111ED-13)の湯側だけです。  
※交換時期は、使用環境などにより異なります。  
※逆止弁の交換を依頼される場合は「保証とアフターサービス」を参照してください。

## こんなときは 故障? その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	流量調節栓は開いていますか。 ゴミづまりはありませんか。	流量調節栓で流量を調節する。 吐水口の掃除をする。
高温しかでない	水側の流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓で流量を調節する。
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。 湯側の流量調節栓は開いていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 流量調節栓で流量を調節する。
温度調節がうまくできない	湯側・水側の流量調節栓は開いていますか。 給湯機から湯がきていますか。	流量調節栓で流量を調節する。 給湯機の設定温度・作動を確認する。
水はねが気になる	_____	流量調節栓で流量を調節する。
給水ホースがはまらない	通水状態で、本体内部に圧力がかかっていますか。	安全装置を復帰し、本体内部の圧力を逃がす。(下記参照)

ホースを接続するまでレバーを開けないでください。  
本製品の自動ストップ機能は緊急用です。  
安全装置が動かなくなって給水ホースが取り付けができなくなった場合は、次の手順で安全装置を復帰してください。

**【安全装置の復帰方法】**

- 分岐ハンドルを止水位置に合わせて止水してください。
- タオルなどで手を保護して安全装置を押してください。

洗濯機用ニップル、タオルなど

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びレバー上部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。レバー上部からの水漏れの場合は、シングルレバーカートリッジを交換してください。
止水しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。シングルレバーカートリッジを交換してください。
ニップル部から水が漏れる	給水ホースのパッキン部の損傷、ゴミかみのおそれがあります。ゴミかみがあれば取除き、傷があれば部品を交換してください。

## 漏水した場合の処置

漏水した場合は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。

**流量調節栓の閉め方** 「流量調節」を参照してください。  
**元栓の閉め方**

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。  
※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。  
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。  
※一部の地域では左まわしの場合があります。  
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■戸建て住宅などの元栓ボックス:  
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキーボックスがあったりします。

■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス:  
主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。

●キー式  
止水栓キー  
SAN-EI品番: PR30A (止水栓キー)

●ハンドル式

水道メーター(量水器) 水道メーター(量水器)

## 保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

**定期点検・部品交換**

使用年数

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

お客様による日常のお手入れ・点検

摩耗劣化部品の交換

買替えご検討

方法については、「日頃のお手入れ」・「定期的な点検」を参照してください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。  
摩耗劣化部品の例: シングルカートリッジ(バルブ開閉ユニット)・逆止弁(逆流防止弁)・レバー(ハンドル)・網(ストレーナ)・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。  
部品の詳細については「本製品の構造」を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

## 〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先: お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容:
  - 住所、氏名、電話番号
  - 品番、品名
  - お買上げ(お取付け)年月日
  - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
  - 訪問希望日

品番を確認するには水栓の右側裏面に貼付のシールをご確認ください。

●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。  
「技術料」  
診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。  
「部品代」  
修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)  
「出張料」  
製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

## 〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
- ご不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。

## 水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。  
お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください。記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。  
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。	
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)
	本体	2ヵ年
お買上げ日(お取付け日)	年	月
お客様	お名前	様
	ご住所	〒
電話	( )	( )
販売店	店名	住所
工事店	電話	( )

## <無料修理規定>

- ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。
- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
  - ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
  - 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
    - (1)使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
    - (2)温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
    - (3)お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
    - (4)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
    - (5)電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
    - (6)消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
    - (7)施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
    - (8)建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
    - (9)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
    - (10)ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
  - (1)砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合  
(2)寒冷地仕様製の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
  - (3)本書の提示がない場合  
(4)本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。  
★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。  
★補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社お客様相談室へお問合せください。

## SAN-EI

株式会社 三栄水栓製作所

- 本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号  
お客様相談室 大阪 ☎(06)6976-8661  
東京 ☎(03)3683-7496  
フリーダイヤル ☎0120-06-9721
- 東京支店 ☎(03)3683-7471  
名古屋支店 ☎(052)800-8688  
大阪支店 ☎(06)6972-6981  
札幌営業所 ☎(011)782-5353  
盛岡営業所 ☎(019)605-7301  
仙台営業所 ☎(022)258-6251  
郡山営業所 ☎(024)931-1377  
新潟営業所 ☎(025)281-1291  
つくば営業所 ☎(029)850-5661  
さいたま営業所 ☎(048)851-2600  
東京西営業所 ☎(042)582-7141  
横浜営業所 ☎(045)929-0331  
静岡営業所 ☎(054)236-1115  
金沢営業所 ☎(076)268-7751  
京都営業所 ☎(075)605-5761  
神戸営業所 ☎(078)843-9231  
広島営業所 ☎(082)922-3631  
松山営業所 ☎(089)905-7866  
福岡営業所 ☎(092)674-1230  
熊本営業所 ☎(096)385-7161  
沖縄営業所 ☎(098)869-0890